

# 平成28年度 新人看護師研修計画

<看護部到達目標> 人を思いやる心をもった、誰からも信頼される高い看護実践能力をもった看護師

新人レベル[到達目標] ・臨床看護実践における基本的看護技術が習得でき、対象に必要な看護が実践できる

・助言を受けて病室担当ができる

月別担当者	4月:岡田	5月:城井田	6月:畠・森山	7月:教育担当者	8月:畠	9月:城井田	10月:畠・岡田	11月:森山	12月:城井田	1月:岡田
看護部目標	新しい環境に慣れる			先輩のフォローのもとで、手順や基準に基づいた看護ができる		部署によくみられる疾患や病態を理解し、重症患者や複雑な背景を持つ患者の看護もできるようになる			基本的な看護技術が一人のできる、看護過程に基づく看護ができる	
学習項目		与薬の技術Ⅰ	食事の援助技術 活動・休息援助技術		与薬の技術Ⅱ 創傷管理技術	呼吸・循環を整える技術	救命救急技術・症状・生体機能管理技術	感染予防技術Ⅱ QC手法	看護に必要な基本的姿勢・態度	看護に必要な基本的姿勢・態度
学習目標	・看護部の理念・方針を知る ・医療現場における安全・感染管理の基本的技術を学ぶ ・看護職員として自覚と責任のある行動ができる (看護倫理)	・ポンプ管理に必要な知識、技術を学び、安全に操作できる ・看護必要度を理解し、看護評価ができるようになる ・SOAPを理解して看護記録を書くことができる	・患者に合わせた食生活支援・食事介助法を学ぶ ・安全、安楽な移動方法技術を習得する ・意識レベルのみかたを理解する(JCS・GCS) ・夜勤に備えて心身を整えることができる	・新人同士の交流を深めて、心身ともにリフレッシュする	・輸血療法に関する知識を学び、輸血を受ける患者の副作用症状を観察できる  ・褥瘡の予防方法を知り実施できる	・人工呼吸器装着中の患者の看護を学ぶ(呼吸器組立、観察項目、管理方法)	・シミュレーションを通して、フィジカルアセスメント技法を学び、急変時の対応ができる	・ノロウイルス、インフルエンザに対する感染管理を学ぶ  ・業務改善の方法が理解でき、取り組める	・科学的看護論に基づき、受け持ち患者の看護展開を振り返ることができる	・身近な倫理問題に対して考えることができる
日時内容	4/5、4/6 採用時研修 (別紙参照)	5/18 9時～12時 輸液・シリンジポンプ研修 (実地指導者・CE部)  13時～14時 評価 (実地指導者)  14時～16時 看護必要度 (川崎Ns)  16時～ SOAPの書き方 (殿本師長補佐)	6/15 9時～11時 食事介助の実際 (勝島師長補佐)  11時～12時 評価(実地指導者)  13時～16時 活動・休息援助技術 (移動の介助、体位変換、関節可動域訓練、意識レベルの観察方法) (東雲師長補佐)  16時～17時 夜勤 オリエンテーション (実地指導者)	リフレッシュ研修	8/17 9時～12時 輸血療法 (実地指導者)  13時～14時 評価 (実地指導者)  14時～17時 創傷処置・褥瘡予防 (佐小主任・森川薬剤師)	9/21 9時～12時 人工呼吸器・NPPVについて(CE部)  13時～14時 評価(実地指導者)  14時～17時 人工呼吸器装着患者の看護・管理 (中村副主任)	10/15(土)29(土) どちらか1日  9時～17時 シミュレーション 研修 (研修担当者・実地指導者)	11/16 9時～13時 感染管理 (ノロウイルス・インフルエンザ等) (村田師長)  14時～15時 評価 (実地指導者)  15時～17時 プチQC活動 (吹田副主任)	12/21 9時～17時 自然治癒力・科学的看護論	1/18 9時～12時 事例振り返り (倫理) (森川副主任 川島副主任)  13時～15時 最終評価 (実地指導者・教育担当者)
場所	会議室	講堂	講堂		講堂	講堂	外来治療棟 点滴処置室	講堂	講堂	講堂
途中評価 (実地指導者参加)		13時～14時 (看護技術チェックリスト持参)	11時～12時 (看護技術チェックリスト持参)		13時～14時 (看護技術チェックリスト持参)	13時～14時 (看護技術チェックリスト持参)		14時～15時 (看護技術チェックリスト持参)		13時～15時 (看護技術チェックリスト持参)
面接		各部署長				各部署長				
備考		リフレッシュ研修計画立案							防災訓練参加	